

国際ロータリー第2530地区東北第一分區



福島南ロータリークラブ

〒960-8151 福島市太平寺通65-2 ザ・3F・メイフアイビル2F20号
 TEL:024-548-3793 FAX:024-548-7878
 総合室/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30
 TEL:024-629-3811(FAX) FAX:024-629-0375
 HPアドレス http://www.fsknara.jp/~rotary/index.html

2010年-2011年RIテーマ

第7回例会	
平成 22年 8月 25日 (水) サンパレス福島	
■メークアップ/28名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/39名 ■出席率/58.21%	
本日のプログラム	7 ゲストスピーチ
1 開会点鐘	IAC 年次大会報告
2 ロータリーソング (奉仕の理想)	8 各委員会報告
3 四つのテスト	9 閉会点鐘
4 来訪者紹介と会長挨拶	
5 幹事報告	
6 創立 40 周年記念事業 福島南ロータリー奨学生 奨学金授与	
今日・来月のプログラム	
9月 1日 (水) 地区大会の説明及び委員会構成メンバーの発表	9月 15日 (水) 会員スピーチ
9月 8日 (水) ゲストスピーチ (新世代委員会委員長)	9月 22日 (日) 会員スピーチ (㈱ハッピーケア 福田社長)

◆**会長挨拶**◆



黒羽 好夫 会長 「ロータリーの原点に帰ろう！」

本日は、成蹊高等学校様から、本校校長先生を始め、たくさんの生徒様においで頂きました。

明日から、新学期を迎えるの準備にお忙しいところを、誠にありがとうございます。

今年度は、福島南ロータリークラブにとりましては、創立 40 周年という記念すべき年度であります。来年 4 月 6 日には、創立 40 周年記念式典を行い、会員全員で祝う予定でございます。

その記念事業の一つとして「創立 40 周年記念・福島南ロータリークラブ奨学金制度」を計画致しました。記念事業の内容は、今まで記念事業費として積立てた中から、「奨学金基金」を設け、今年度より 3 年間の継続事業として行います。

日本はここ数年来、不況が続く、厳しい経済状況にありますが、日本の将来を支える新世代の皆様へ元氣を出して勉学に努めて頂くための一助になることを期待しております。

これは、レイ・クリンギンスミス RI 会長の今年度テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」に合致した「地域のためになる奉仕活動」になることと存じます。

本日は、その第 1 回目の奨学金授与式を行います。今回は 成蹊高等学校様の各種学内規定に基づき、厳正に審査をして頂きまして、1 年から 3 年までの各学年から一人ずつご推薦頂きました勉学意欲の旺盛な生徒さんです。今日、授与致しましたこの奨学生が、今後、ますます勉強に励み、将来、地域社会に貢献される人になって頂ければ、大変うれしいことです。頑張ってください。

また、本日は成蹊高等学校インターアクトクラブの代表にもおいで頂いております。さる、8 月 4 日、5 日に、白河市で行われましたインターアクト年次大会に出席されました。ご報告をお願いしております。サンフレッシュ白河をメインに、たくさんの活動をされたと聞いておりますので、後ほど、発表をよろしく願います。

◆**来訪者紹介**◆



◎成蹊高等学校校長 本田 哲朗 様
 ◎福島東ロータリークラブ社会奉仕委員長 長澤 祐嗣 様

◆**創立 40 周年記念事業 奨学金授与**◆
 奉仕プロジェクト管理委員長 大野順道 委員長



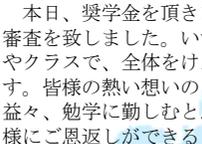
認定証及び奨学金の授与式が行われ、本田校長と奨学生よりご挨拶や意気込みなどお話ししました。
 ◎成蹊高等学校校長 本田 哲朗 様



今回の記念事業は、本校として非常にうれしく、胸の熱い想いをさせて頂きました。日頃より、本校のインターアクトのご指導も頂き、子どもたちが、将来の日本のために夢をもって育てていることを感じております。

日本は、国土の狭い資源の少ない国です。私たちの資源は「人材」であり、夢を持った子ども達のエネルギーでしかないと思っております。一方で、ここ数年の不況下では、子ども達ですら夢を持ってない社会になってきました。その一部の責任は、私たち大人の責任ではないかなと思っております。私は、今後とも、教育の現場で子ども達が夢を持てるような教育を施して参ります。どうか引き続き、成蹊高校のご支援をお願い致します。

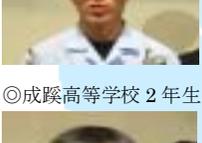
本日、奨学金を頂きました 3 名は、学内で厳正な審査を致しました。いずれも、勉学優秀で、クラブやクラスで、全体をけん引するリーダー的な生徒です。皆様の熱い想いのこもった奨学金を授与され、益々、勉学に勤むと思っております。将来、この地で皆様にご恩返しができる日が遠からず来るのではないかと思っております。



◎成蹊高等学校 1 年生 石塚将大 (まさひろ) 君
 奨学生に選ばれたという結果に満足することなく、これからも勉学に励み、夢の実現のために、地域のために頑張っていきます。本日は、ありがとうございます。



◎成蹊高等学校 2 年生 田代恵莉菜 (えりな) さん
 今回は、福島南ロータリークラブの奨学生に選んで頂き、本当に、ありがとうございます。これからも、進路実現に向けて、勉強に励んでいきたいと思っております。本日は、ありがとうございます。



◎成蹊高等学校 3 年生 鈴木瑠璃子 (るりこ) さん



私の家は母子家庭で、母が女手一つで、今まで育ててくれました。母に恩を返そうと、3 年間、勉学に励んできました。この奨学金は、進路実現のために使わせて頂こうと思っております。本当にありがとうございます。

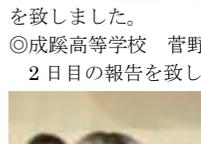
◆**ゲストスピーチ IAC 年次大会報告**◆
 新世代・インターアクト委員会 本田光男 委員長

8 月 4・5 日に開催された年次開会についての報告です。大会テーマは「阿武隈川の源流からの発信～今、環境のために出来ること～」です。環境に関する見学やグループワークが行われました。

◎成蹊高等学校 相馬聡乃 (さとの) さん
 1 日目の報告を致します。南湖散策と茶道体験や、ダム見学をしました。特に、南湖散策やダム見学では、水の大切さを学び、また、他の学校の生徒と交流ができ、貴重な体験を致しました。



◎成蹊高等学校 菅野沙希さん
 2 日目の報告を致します。植林やエコキャップについての講演や、ディスカッションと発表をしました。森の癒し効果を感じ、また、植林には長い年月がかかることを知りました。エコキャップについて、回収したエコキャップの行き先など分からなかったのですが、講演によって、活動の全体が分かり、さらに、積極的に活動をして行きたいと感じました。



◎成蹊高等学校 1 年生 富田健三郎 さん
 今回の報告は、南湖散策や茶道体験や、ダム見学をしました。特に、南湖散策やダム見学では、水の大切さを学び、また、他の学校の生徒と交流ができ、貴重な体験を致しました。

◆**スマイリングボックス**◆

◎残暑厳しい折、ご自愛下さい。 高橋和之 会員
 ◎久しぶりの会合参加です。 丹治洋子 会員
 ◎インターアクトの生徒を歓迎して。 富田健三郎 会員
 ◎本日 40 周年活動開始おめでとうございます。 林克重 会員

スマイル 33,000 円 累計 312,701 円
 財団・米山 37,000 円 累計 318,000 円

～ **私の職業の目的** ～ **赤間 英典 会員**
 自分のため。しかし、子どもや人のためにならなければやめよう。

―**編集後記**―
 実りの秋を迎えました。心身ともに充実の秋としたいものです。(丹治ト)